令和6年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	公民	科　目	公共	単位数	2
対象学年・組・コース	第　2　年　1　組	コース	(自動車)　(電気)　(建　築)		
教科担当者	永田　農治				
使用教科書	『詳述　公共』(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　公民　』の目標	
【知識及び技能】	現代の社会についての理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】	現代社会における、基本的な問題について主体的に考察し判断する。
【学びに向かう力、人間性等】	自ら人間としての在り方･生き方についてを考察する。

科目『　公共　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
公共的な空間についての知識を身に付け、理解を深める。	公共的空間における、基本的な問題について主体的に考察し思考･判断･表現する力を養う。	倫理を通じて、自らの人間としての在り方･生き方についてを考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時
1学期	第4章　民主国家における基本原理 【知】政治についてを理解することが出来る。 【思】現代の民主国家について考えることが出来る。 【学】主権者としての考えることが出来る。	・指導項目 1.人権保障の発展と民主政治の成立 2.国民主権と民主政治の発展	【知】政治についての理解することが出来る。 【思】現代の民主国家について考えることが出来る。 【学】主権者としての考えることが出来る。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	第1章　日本国憲法の基本的性格 【知】憲法についてを理解することが出来る。 【思】立憲主義について考えることが出来る。 【学】主権者として考えることが出来る。	・指導項目 1.日本国憲法の成立 3.基本的人権の保障	【知】憲法についてを理解することが出来る。 【思】立憲主義について考えることが出来る。 【学】主権者として考えることが出来る。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
2学期	第2章　日本の政治機構と政治参加 【知】統治機構についてを理解することが出来る。 【思】政治参加についてを考えることが出来る。 【学】主権者として考えることが出来る。	・指導項目 1.政治機構と国民の生活 2.人権保障と裁判所 3.地方自治 4.選挙と政党 5.政治参加と世論	【知】統治機構についてを理解することが出来る。 【思】政治参加について考えることが出来る。 【学】主権者として考えることが出来る。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	第3章　現代の経済社会 【知】経済社会についてを理解することが出来る。 【思】市場の仕組みについてを考えることが出来る。 【学】税金の在り方として考えることが出来る。	・指導項目 1.経済社会の形成と変容 2.市場の仕組み 3.現代の企業 5.金融機関の動き 6.政府の役割と財政･租税	【知】経済社会についてを理解することが出来る。 【思】市場の仕組みについてを考えることが出来る。 【学】税金の在り方として考えることが出来る。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	第4章　経済活動の在り方と国民の福祉 【知】戦後の経済についてを理解することが出来る。 【思】社会保障についてを考えることが出来る。 【学】国民の在り方として考えることが出来る。	・指導項目 1.日本経済の歩みと近年の課題 6.社会保障	【知】戦後の経済についてを理解することが出来る。 【思】社会保障についてを考えることが出来る。 【学】国民の在り方として考えることが出来る。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
				合計			70

【表記の略称】知識･技能：【知】、思考･判断･表現：【思】
主体的に学習に取り組む態度：【態】、学びに向かう力、人間性等：【学】

都立総合工科高等学校　定時制
令和6年度　年間授業計画

令和6年4月1日

学年	4	教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	区分	必修得

教科書	高等学校　新現代社会(帝国書院)
副教材	なし

担当教諭氏名	永田　農治

教科・科目の目標・ねらい
①現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察できる。 ②年間5回の定期考査(80%)、及び提出物(20%)を実施し、通年合計50%以上の者の修得を認める。

評価のねらい・観点
①現代社会への興味・関心を図り、自己学習力の育成を目指す。 ②年間5回の定期考査(80%)、及び提出物(20%)を実施し、通年合計50%以上の者の修得を認める。

	予定時数	指導内容
1学期	24	第2章　現代社会の民主政治と民主社会の倫理 第1節　民主政治の原理と日本国憲法 1.近代立憲主義の原理　2.近代立憲主義の広がり +民主主義のジレンマ 4.日本国憲法 第2節　日本の政治機構と政治参加 1.国民主権と議会制民主主義　4.世界の政治体制
2学期	28	第1節　民主政治の原理と日本国憲法 4.平等権と差別　5.自由権(1)　6.自由権(2)　7.社会権、参政権、国務請求権 第2節　民主政治の原理と日本国憲法 2.国会の仕組みと役割　3.内閣と行政の役割と責任　5.司法の役割と責任 6.地方自治と役割　7.政党政治と仕組みとマスメディア　8.選挙制度とその課題
3学期	18	第3章　現代経済と国民の福祉 第1節　市場経済の仕組み 1.経済活動と市場経済の考え方　2.市場のメリットと限界　4.企業の役割 6.金融の役割　7.政府と財政の役割　8.財政の課題
学年計	70	

その他